人類の出現と文明

名前

問1　日本の縄文時代において製作された「土偶」について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。
2. 大規模な古墳が造られる中で、亡くなった支配者の権力を象徴し、その死後を守るための副葬品として作られた。
3. 律令制度のもとで、成人男性が都へ赴いて労働の代わりに納める税の一種として、全国で均一に作られた。
4. 大陸から伝わった稲作技術が広まる中で、収穫した稲を保存するための高床倉庫の装飾として作られた。

問2　紀元前5世紀頃、エジプトの王政や後の中国の秦に見られたような皇帝による統治とは異なり、ギリシャの都市国家（ポリス）であるアテネなどで発達した、市民が自ら政治に参加する統治の仕組みを何と呼びますか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 官僚制
2. 共和政
3. 専制政治
4. 民主政

問3　古代メソポタミアにおいて、粘土板に文字を刻んで情報を記録する仕組みが発達した背景として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 亀の甲羅や動物の骨を焼き、そのひび割れの形から国の吉凶を占う儀式を重視したため
2. 巨大な墳墓の壁面に、王の死後の世界を描いた物語を装飾として残す必要があったため
3. 仏教の教えを周辺諸国に広めるため、持ち運びが可能な軽い素材に経典を記す必要があったため
4. 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため

問4　古代文明の特徴を説明した次の記述のうち、メソポタミア文明に該当するものとして適切なものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. ナイル川の定期的な増水を予測するため、太陽の動きを基準とする太陽暦が作られた。
2. チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。
3. 黄河や長江の流域で、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで占いが行われた。
4. インダス川流域の都市において、下水道や公衆浴場などの高度な都市設備が整えられた。

問5　アフリカ大陸北東部を流れるナイル川の流域で栄えた文明において、使用された文字と発達した暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 楔形文字 ― 太陽暦
2. 象形文字（ヒエログリフ） ― 太陰暦
3. 象形文字（ヒエログリフ） ― 太陽暦
4. 楔形文字 ― 60進法

問6　紀元前1600年ごろ、黄河流域で栄えた「殷（商）」において、王が神意を問う占いなどを行う際に、亀の甲羅や動物の骨に刻んで使用した文字を何というか答えなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 楔形文字
2. ヒエログリフ
3. 甲骨文字
4. 象形文字

問7　古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。（2019年 沖縄県公立入試 類似）

1. インダス文明
2. メソポタミア文明
3. エジプト文明
4. 中国文明

問8　紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおいて確立された、市民が国政の重要事項を直接話し合って決定する政治体制を何と呼びますか。また、その意思決定を行う場の名称として正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 山梨県公立入試 類似）

1. 貴族政を行い、元老院で決定した
2. 間接民主政を行い、議会で決定した
3. 直接民主政を行い、民会で決定した
4. 独裁政治を行い、広場で決定した

問9　紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. ヒエログリフ
2. 甲骨文字
3. 楔形文字
4. フェニキア文字

問10　7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. ローマ
2. エルサレム
3. バグダード
4. メッカ

問11　7世紀にアラビア半島のムハンマドが、唯一の神であるアッラーからの啓示を受けたとして開いた、神への絶対的な服従を説く宗教は何か、次の中から選びなさい。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 儒教
2. 仏教
3. イスラム教
4. キリスト教

問12　紀元前2500年頃からインド北西部の河川流域で栄え、モヘンジョ・ダロに代表されるような、道路が碁盤の目のように整備され上下水道を備えた計画的な都市を築いた文明を何といいますか。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. エジプト文明
2. インダス文明
3. 中国文明
4. メソポタミア文明

問13　黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。
2. パピルスという紙に神聖文字（ヒエログリフ）が書かれ、太陽暦が用いられた。
3. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。
4. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。

問14　アフリカのナイル川流域で発展した古代エジプト文明において、川の定期的な増水を予測し、農作の時期を正確に把握するために作成された暦（こよみ）を何といいますか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）

1. 太陰暦
2. 太陽暦
3. グレゴリオ暦
4. 二十四節気

問15　古代東アジアの勢力範囲を説明した資料において、漢（前漢）の時代に万里の長城が築かれた場所を文章で表現する場合、その位置関係の説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている
2. 日本列島に近い沿岸部に位置し、東方の島々との境界となっている
3. 中国大陸の南部の海岸線に沿って、海上勢力を防ぐように配置されている
4. 朝鮮半島の中央部を横断し、半島を南北に分断するように配置されている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自然の力への畏敬の念を持ち、豊かな収穫やまじない、安産などを祈るための道具として作られた。	縄文時代の人々は、狩猟や採集による生活を営む中で、あらゆる自然物に霊魂が宿ると考えるアニミズム的な世界観を持っていました。土偶は、そうした信仰の中で、大地の豊穣や子孫繁栄、病気やけがの治癒を祈るための呪術的な対象として用いられました。選択肢にある「古墳の副葬品」は古墳時代の埴輪などの説明であり、「律令制度の税」は飛鳥・奈良時代の「庸」などの説明にあたります。
問2	答え 4 民主政	紀元前5世紀頃のギリシャでは、個々の都市国家（ポリス）が独立しており、アテネなどの有力なポリスでは、王や皇帝が全権力を握る君主制ではなく、成年男子の市民が民会などに参加して直接意思決定を行う仕組みが築かれました。これは、同時期のエジプトや、後に中国を統一した秦の始皇帝による強力な皇帝政治とは大きく異なる、古代ギリシャ特有の政治形態です。
問3	答え 4 都市国家の運営において、収穫した農産物の量や交易の記録を正確に残す必要があったため	大きな河川の流域で農業が発展し、多くの人々が暮らす都市国家が形成されるようになると、蓄えられた余剰産物の管理や、遠方との交易の内容を正確に記録・保存する必要が生じました。文字は、複雑化した社会の運営や徴税を円滑に行うための実用的な統治ツールとして発明されました。
問4	答え 2 チグリス川・ユーフラテス川の流域で栄え、月の満ち欠けを基準とする太陰暦が用いられた。	メソポタミア文明は現在のイラク付近を流れる二つの大河のほとりで発展しました。天文学が発達し、月の満ち欠けの周期に基づく暦（太陰暦）が使われたほか、一週間を七日とする制度や、六十進法などの起源にもなっています。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、中国文明の特徴です。
問5	答え 3 象形文字（ヒエログリフ） ― 太陽暦	ナイル川流域のエジプト文明では、川の定期的な氾濫時期を予測する必要から天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦が作られました。また、神殿や墓の壁画などには象形文字（ヒエログリフ）が刻まれました。一方、楔形文字や60進法、太陰暦は、チグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミア文明の特徴です。
問6	答え 3 甲骨文字	殷の時代、王は国政の重要な決定を下す際に、骨や甲羅を焼いて生じたひび割れで吉凶を占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字です。これは単なる記号ではなく、意味を持った文字として体系化されており、現在の漢字の起源になったとされています。
問7	答え 3 エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、パピルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問8	答え 3 直接民主政を行い、民会で決定した	古代アテネでは、市民が代表者を通さず自ら政治に参加する「直接民主政」が発達しました。この意思決定の中心となったのは、全市民が参加資格を持つ「民会」と呼ばれる機関です。現代の多くの国で採用されている代表制（間接民主政）とは異なり、自分たちで直接投票を行う仕組みでした。
問9	答え 2 甲骨文字	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文字です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問10	答え 4 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問11	答え 3 イスラム教	ムハンマドがメッカで開いたこの宗教は、唯一神アッラーを信仰し、その教えは聖典「コーラン」にまとめられています。ムスリムと呼ばれる信者は、礼拝や断食など、生活全般において神への服従を実践することを重んじます。
問12	答え 2 インダス文明	インダス川流域で発達したこの文明は、高度な都市計画に基づいた都市遺跡が特徴です。レンガ造りの建物や排水溝などが整えられており、当時の高い測量技術や土木技術の存在がうかがえます。
問13	答え 3 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問14	答え 2 太陽暦	ナイル川は毎年決まった時期に増水し、周囲に肥沃な土壌をもたらしました。この氾濫の周期を把握することは、農業を行う上で極めて重要であったため、天体の動きを観察することで1年を365日とする太陽暦が考案されました。これは後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。
問15	答え 1 中国大陸の北側に位置する内陸部の境界線に沿って配置されている	漢の時代の万里の長城は、王朝の北限を示すように、現在の中国の内陸部から黄河の北側、さらには朝鮮半島の付け根付近にかけての境界線上に築かれました。これは、農耕定住生活を送る漢の勢力圏と、それより北側に広がる遊牧民族の活動圏を物理的に切り分ける境界線の役割を果たしていました。